サポート情報記事

Questions and Answers のリッチな回答: Markdown、動画、添付ファイル、詳細リンク、連絡先

2026 © Vitextra SIA. 無断転載を禁じます。

免責事項

本免責事項の適用上、次のとおり定義します。

- **会社** (本免責事項では「当社」と表記します) とは、Vitextra SIA (Matīsa iela 61-25, Rīga, LV-1009, Latvia) を指します。
- **本ドキュメント**とは、ナレッジベースの記事を指します。
- **お客様**とは、本ドキュメントにアクセスする個人、または該当する場合は、その個人が本ドキュメントにアクセスまたは使用する際に代理となっている会社その他の法人を指します。
- **本 Web サイト**とは、https://vitextra.com からアクセスできる Vitextra を指します。

免責事項

本ドキュメントに記載されている情報は、一般的な情報提供のみを目的としています。

当社は、本ドキュメントの内容における誤りや脱漏について、一切責任を負いません。

いかなる場合も、契約上の訴訟、過失、その他の不法行為上の訴訟であるかを問わず、本ドキュメントの内容の使用に起因または関連して生じる、特別損害、直接損害、間接損害、結果的損害、付随的損害、またはその他一切の損害について、当社は責任を負いません。当社は、事前の通知なく、いつでも本ドキュメントの内容に追加、削除、または変更を行う権利を留保します。

誤りおよび脱漏に関する免責事項

本ドキュメントに記載されている情報は、関心のある事項に関する一般的な指針を示すことのみを目的としています。そのため、本ドキュメントの内容を最新かつ正確に保つために当社があらゆる予防措置を講じている場合でも、誤りが生じる可能性があります。また、法律、規則、規制は変化するため、本ドキュメントに記載されている情報に遅れ、脱漏、または不正確な点が含まれる場合があります。

当社は、誤りや脱漏、またはこの情報の使用によって得られた結果について、責任を負いません。

フェアユースに関する免責事項

当社は、著作権者から明示的な許可を得ていない著作物を使用する場合があります。当社は、批評、論評、ニュース報道、教育、学術研究、または調査の目的で、そのような資料を提供しています。

当社は、これが、米国著作権法第 107 条に規定されている、当該著作物の「フェアユース」にあたると考えています。

お客様が、フェアユースの範囲を超えて、ご自身の目的で本ドキュメントの著作物を使用することを希望される場合は、著作権者から許可を得る必要があります。

「自己責任での使用」に関する免責事項

本ドキュメントのすべての情報は、完全性、正確性、適時性、またはこの情報の使用によって得られる結果について何ら保証することなく、また、性能、商品性、特定目的への適合性に関する保証を含むがこれらに限定されない、明示または黙示を問わずいかなる種類の保証もなく、「現状のまま」提供されます。

当社は、本ドキュメントに記載されている情報に依拠して行われた判断や措置、または結果的損害、特別損害、もしくはこれらに類する損害について、たとえそのような損害の可能性について知らされていた場合でも、お客様またはその他の者に対して責任を負いません。

お問い合わせ

本免責事項についてご不明な点がある場合は、メール (support@vitextra.com) でお問い合わせください。

目次

概要 4

回答テキスト**: Markdown** 4

動画による回答 5

添付ファイル 7

詳細リンク 7

担当者 7

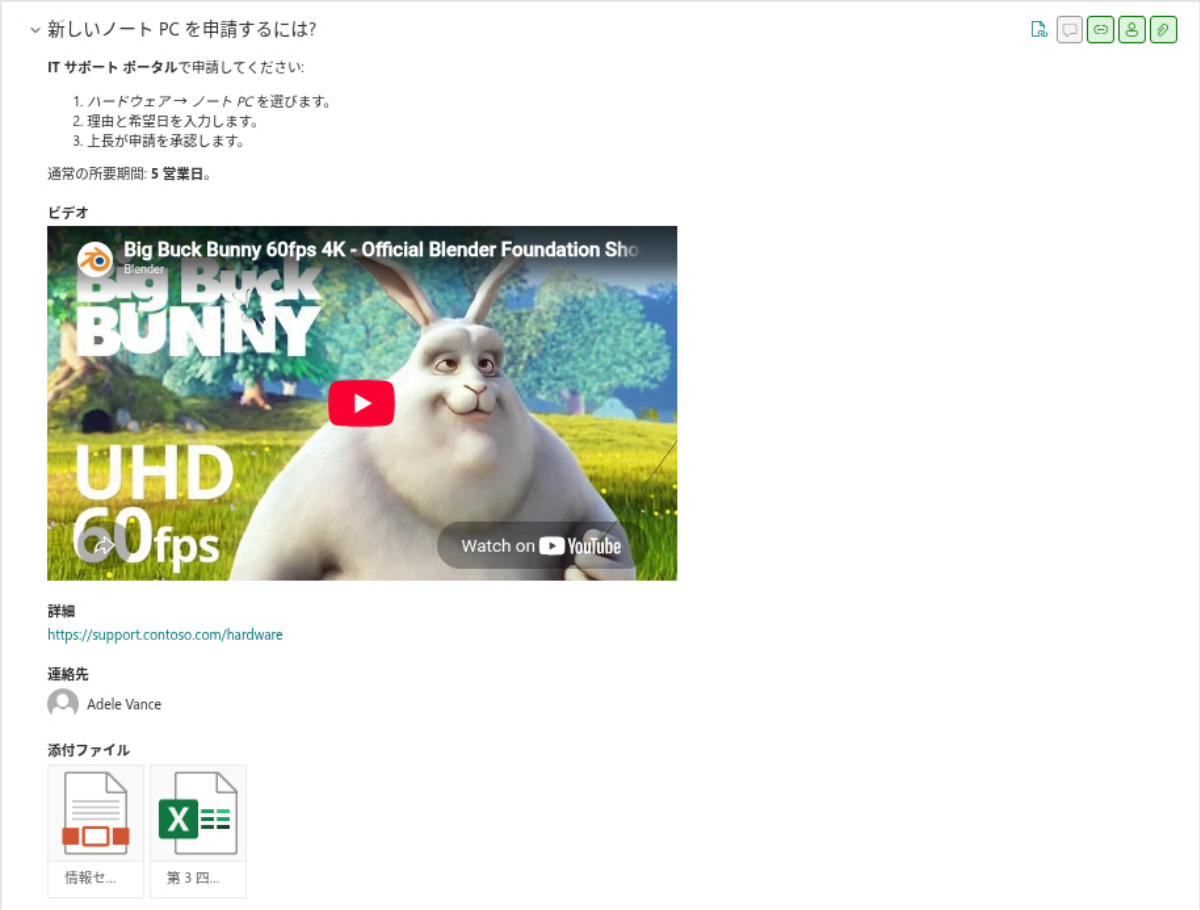
表示**/**非表示 スイッチ 8

良い回答のためのチェックリスト 9

用語 10

概要

Questions and Answers の回答は、単なる 1 段落のテキストではありません。展開した質問には、書式付きテキスト、動画、添付ファイル、より詳しい資料へのリンク、そのトピックの担当者を表示できます。それぞれが独自のブロックを持ち、Web パーツ全体に対してオンまたはオフに切り替えられます。この記事では、編集者が **SharePoint** リストでこれらのブロックをどのように入力し、閲覧者にどのように表示されるかを説明します。リストの基本と公開ワークフローについては、KB10219. Questions and Answers での質問の作成、編集、公開を参照してください。 このバージョンで作成されるリストのフィールド名は、Title、Answer、Category、Link、VideoUrl、Contact、Order、Published のまま英語です。Web パーツやこの記事のローカライズされたラベルは、フィールド名を変更しません。作成コードは Title を Question に変更しません。



すべてのブロックが入力された回答

回答テキスト: Markdown

Answer 列は **Markdown** としてレンダリングされます。フィールドにマークアップ

をプレーン テキストとして入力します。

入力	閲覧者に表示される内容
重要: 金曜日までにフォームを提出してください。	**重要:** 金曜日までにフォームを提出してください。
斜体	*斜体*
- 1 つ目の項目 / - 2 つ目の項目 (1 行に 1 つ)	箇条書き
1. 設定を開く / 2. アカウントを選択する	番号付きリスト
[出張ポリシー](https://intranet/policies/travel)	出張ポリシー というテキストのリンク
## はじめる前に	回答内の小見出し
空行	段落の区切り

回答は短く直接的にし (閲覧者が目を通すのは最初の数行です)、詳しい内容は **詳細** リンクや動画に委ねてください。回答内の見出しは、複数の段階からなる手順の説明に役立ちます。

警告

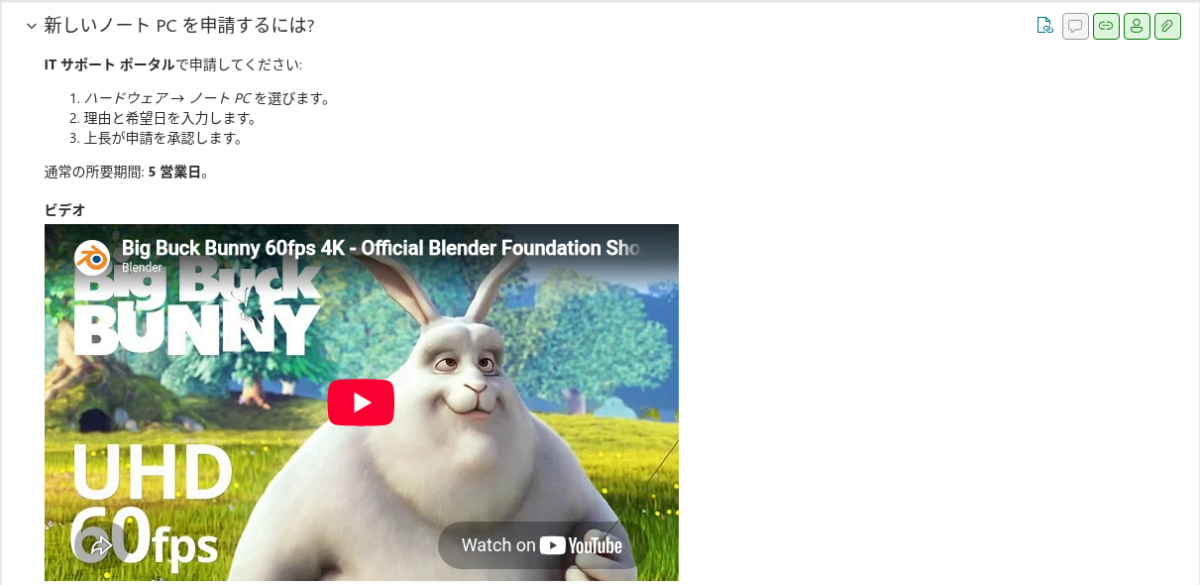
Markdown はプレーン テキストとして記述し、SharePoint のアイテム フォームの書式設定ツール バーは使用しないでください。ツール バーで適用した書式は HTML として保存され、Web パーツはこれをレンダリングしません。タグは削除され、テキストだけが残ります。Markdown のリストや段落が期待どおりに表示されない場合は、**リストの設定** → **Answer** を開き、列を**書式なしテキスト** (Plain text) に設定してください。Web パーツにリッチ テキストは不要です。

動画による回答

短い画面録画は、文章よりも手順をわかりやすく説明できることがよくあります。動画のアドレスを **VideoUrl** 列に入力し、**表示/非表示** グループで **ビデオ** を 表

示に切り替えます。Web パーツはアドレスに応じて表示方法を決定します。

アドレス	表示方法
YouTube - `youtube.com/watch?v=…`、`youtu.be/…`、`youtube.com/shorts/…`、`youtube.com/embed/…`、`youtube-nocookie.com/embed/…`	埋め込み YouTube プレーヤー
Vimeo - `vimeo.com/<番号>`	埋め込み Vimeo プレーヤー
動画ファイルへの直接リンク - `.mp4`、`.webm`、`.ogg`、`.ogv`、`.m4v`。たとえば SharePoint ドキュメント ライブラリ内のファイル	ブラウザー自身の動画プレーヤー (HTML5)、コントロール付き
その他のアドレス - Microsoft Stream、イントラネットの動画ページ、学習プラットフォーム	**ビデオ** 見出しの下のハイパーリンク。新しいタブで開きます



動画による回答

SharePoint に保存された動画 (ドキュメント ライブラリ、SharePoint 上の Microsoft Stream) は、社内向けの録画に最適です。アクセス権はファイルのアクセス許可に従います。リンクが Stream のページの場合はハイパーリンクとして表示されます。回答内にプレーヤーを表示したい場合は、`.mp4` ファイルへの直接リン

クをコピーしてください。YouTube と Vimeo のプレーヤーはそれぞれのサービスから読み込まれるため、ネットワークでブロックされている場合、閲覧者には空のプレーヤーが表示されます。

添付ファイル

リスト アイテムに添付されたファイル (記入するフォーム、チェックリスト、ポリシーの PDF など) は、**添付ファイル** 見出しの下に、ファイルの種類のアイコンとファイル名を含むカードとして表示されます。 カードは添付ファイルの URL にリンクします。プレビューかダウンロードかは、SharePoint、ファイルの種類、ブラウザー設定によって異なります。

ファイルを添付するには、リストで質問を開き、アイテム　フォームの**ファイルの添付 (Attach file)** を使用して保存します。Web パーツ固有の制限はなく、リスト アイテムの添付ファイルに関する SharePoint の制限が適用されます。**表示/非表示** の **添付ファイル** スイッチは、すべての質問に対してこのブロックを制御します。

ヒント

頻繁に変更されるファイル (最新の価格表、今年の休日カレンダーなど) は、コピーを添付するのではなく、ドキュメント　ライブラリに保存して　**詳細**　や Markdown リンクで参照してください。 固定リンクを使うと重複コピーを減らせますが、目的の最新文書を参照しているか確認してください。添付ファイルも置き換え可能で、どちらの方法も自動的に最新版を保証するものではありません。

詳細リンク

Link 列にはアドレスと任意の説明を入力します。ブロックの見出しは常に **詳細** です。リンクの表示テキストには説明があれば説明を、なければアドレスを使用します。**詳細へのリンク** スイッチでブロックを制御します。

回答を短く保つために使用してください。回答では 2 文程度の要約を示し、**詳細** で正式な文書に誘導します。

担当者

Contact 列には、そのトピックの担当者 (休暇に関する質問なら人事担当者、アカウントならサービス デスクの責任者など) を指定します。閲覧者には **連絡先** 見出しの下に名前が表示され、ポインターを合わせると **Microsoft 365** のライブ プロファイル カードが開き、役職、部署、メール、電話、チャットや通話を開始するボタンが表示されます。このブロックは **連絡先** スイッチで制御します。

質問ごとに 1 人を選択してください (この列は単一のユーザーのみを受け付けます)。チームが担当する場合は、共有メールボックスまたはメール アドレスを持つグループを作成し、代わりに回答テキスト内で名前を挙げてください。**Contact** 列はユーザーのみを受け付けます。



ライブ プロファイル カード付きの担当者

表示/非表示 スイッチ

各ブロックは、プロパティ ペインの **表示/非表示** グループで、Web パーツ全体に対してオンまたはオフに切り替えます。**添付ファイル**、**連絡先**、**詳細へのリンク**、**ビデオ**、**コメントの表示** があります。オンにしたブロックは、その内容がある質問にのみ表示されます。**Link** 列が空なら *詳細* 見出しは表示されません。質問ヘッダーのバッジも同じ規則に従います。クリップ、リンク、人物のバッジは、質問にその内容がある場合は色付きで、ない場合は灰色で表示されます。 コメント ブロックは例外です。有効にするとコメントがなくても表示され、最初のコメントを入力できます。ライブ プロファイル カードには SharePoint の共有ライブラリが必要です。読み込めない場合は、静的な名前または人物表示になります。

ナレッジ ベースで使用しないブロックは、閲覧者に空のバッジが表示されないようにオフにしてください。また、ページを最小限に保ちたい場合もオフにします。たとえばホーム ページ上の短いポリシー FAQ なら、テキストと連絡先だけを表示するのもよいでしょう。

良い回答のためのチェックリスト

1 質問は、ポリシーでの呼び方ではなく、人々が実際に尋ねる言い回しになっている。
2 回答は最初の文で直接的な答えを示し、手順はリストで示している。
3 正式な文書は回答に貼り付けるのではなく、**詳細** でリンクしている。
4 文章で説明しにくい手順には動画がある。
5 閲覧者が必要とするフォームやテンプレートが添付されている (変更されるものならリンクされている)。
6 **連絡先** は実際に支援できる人であり、本人も自分が指定されていることを知っている。
7 上記がすべて整ってから **Published** を *はい* に設定している。

用語

Microsoft 365

Microsoft 365 は、Word、Excel、PowerPoint、Outlook などの生産性アプリと、SharePoint、OneDrive、Teams、Exchange Online などのクラウド サービスを、高度なセキュリティおよびデバイス管理と組み合わせた、クラウドベースのサブスクリプション サービスです。

SharePoint

SharePoint は、コンテンツ管理、ドキュメント管理、ワークフロー アプリケーション、検索、その他のツールを提供する Web ベースのコラボレーション プラットフォームで、従業員やチームが共同で作業できるようにします。SharePoint は、共有情報を保存、整理、アクセスするための安全な場所でもあります。

ドキュメント ライブラリ

ファイル、フォルダー、およびそれらに関する情報を格納する、特別な種類のリストです。リストと同様に、ドキュメント ライブラリには、個人用ビューや共有ビュー、アイテム レベルのアクセス許可などを含めることができます。

リスト

リストは、SharePoint のストレージ単位です。リストには、さまざまな種類の列、コンテンツ タイプ、ビューを含めることができます。ドキュメント ライブラリは特別な種類のリストであるため、リストの機能を継承します。